

令和5年度事業報告書

I. はじめに

国の福祉・介護方針は「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

具体的には、どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会の実現をめざし、地域の実情に応じて、可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、国民一人一人の状態に応じた安心・安全で質が高く効果的・効率的な医療・介護を受けられる社会の構築です。

当法人は、社会福祉事業、公益事業、収益事業の事業運営バランスが理想的で、また、行政及び島内医療機関との連携の基、安心・安全で質が高く、効果的・効率的な医療・介護体制を構築することが可能な条件を兼ね備えています。この有利性を活かした事業展開による、利用者本位の地域に根ざした社会福祉法人を目指す方向性と基本姿勢を「長期ビジョン」「中期3ヵ年計画」に描き、単年度事業計画のもと事業運営を推進しました。

令和5年度は、在宅サービス利用者が施設入所される状況が後を絶たない状況、及び新型コロナウイルス5類移行に伴い、社会経済活動の正常化が進みつつも、資源価格の上昇等の要因により光熱費や物価の高騰が見られ、我々の日常生活や施設運営に苦慮を迫られる一年となりました。

また、令和5年度に発生した預り金、小口現金等の不祥事等を踏まえ、内部統制を強化するとともに、再発防止に取り組み、今回の不祥事で失われた利用者様、関係者様の信頼を取り戻すために、一層の努力を重ねていく所存です。

事業の成果においては、法人全体のサービス活動収支ではサービス活動収益計795,459千円、サービス活動費用計799,714千円、事業活動計算書における税引き前当期活動増減差額は3,112千円、法人税、住民税及び事業税を差し引いた当期活動増減差額は2,896千円となり、年間の収支計画並びに昨年のサービス活動収益及び当期活動増減差額を大きく下まわりました。

次期繰越活動増減差額は259,711千円の確保となりました。

II. 主な取り組み

1. サービスの質の向上をめざした教育・研修の強化と資格取得支援の充実

利用者の自立支援をサービスの基本姿勢とし、利用者に良質かつ安全・安心な福祉サービスの提供に取り組むため、継続的にサービスの質の向上に向けた取り組みを推進し、職員の適正な評価、キャリア形成や自己実現の支援なども含めた育成システムを構築することによる職員育成の充実を図ると共に、各種教育・研修の強化を図りました。

(1) 階層別研修の開催

①管理職研修②係長研修③一般職研修④非常勤職員研修⑤新入職員研修

(2) Web会議への参加、動画研修の開催

インターネットを使用したWeb会議への出席や、専門的な知識やスキルが学べるさまざまなオンライン研修に取り組みました。

(3) 職員基本情報台帳の整備による計画的な教育・研修の実施に取り組みました。

(4) 資格取得を推進するため法人による支援策の強化・継続に取り組みました。

2. 職員処遇の改善と魅力有る職場作り

職員処遇の改善に継続的に取り組むとともに、働きがいのある魅力有る職場作りに取り組み、職員の安全と健康を確保し、快適な職場環境づくりを推進しました。

具体的には、処遇改善加算Ⅰの申請等による財源の確保により、各種手当の見直し(処遇改善手当含む)の支給額の改善に取り組みました。また、契約職員の正職員への登用では、2名の正職員登用を実施しました。

3. 横の連携強化と生産性の向上

個々の職員の資質や専門性の向上はもちろんのこと、チームとしての相乗効果を発揮するため、職員間の横の連携を強化すると共に、福祉・介護サービスの生産性の向上に取り組みました。

4. 法人のブランド力の向上

佐渡テレビに年間を通してCMを放映するとともに、法人ホームページや Facebook 広報誌を活用した情報発信によりブランド力・知名度の向上に努めました。

5. コンプライアンスの徹底

法人経営を行う上で基本となる社会的規範やモラルを守ると共に、職業上高い倫理性が求められる事を各研修等を通じて職員一人ひとりまで周知し、コンプライアンスの徹底を図りました。

こうした中、金泉ふれあいの杜で発生した預り金、小口現金等の不祥事を踏まえ、法人本部にコンプライアンス担当を配置し、内部統制の強化を行い引き続き再発防止に取り組めます。

5. 組織統治体制(ガバナンス)の確立

改正社会福祉法に基づいた理事会・評議員会・監事などの組織統治体制(ガバナンス)を確立し、地域に開かれた運営に努めました。

Ⅲ. 各事業の成果

全事業の取扱高合計は、730,899千円(計画比92.6%、前年比96.6%)となりました。

全取扱高の内、介護職員処遇改善加算Ⅰ及びベースアップ加算の申請による財源確保は37,814千円となりました。

各事業の成果は下記の通りとなります。

1. デイサービスセンター

(1) デイサービス利用状況

島内でも高齢化率の高い高千・外海府地区をはじめ、西三川地区、真野地区に展開する通所介護事業全体の利用者延べ人数は、13,504人となりました。

感染への不安から利用控えが相次いだこともあり、各事業所で感染対策を講じながらも厳しい運営を強いられました。

(2) 事業所別利用状況及び取扱高

①高千の里

利用者数6,281人(前年6,840人、前年比91.8%)と昨年を下回りました。

取扱高は、58,998千円(計画比87.8%)となりました。

②西三川

利用者数3,336人(前年3,874人、前年比86.1%)と昨年を下回りました。

取扱高は、32,936千円(計画比78.2%)となりました。

③あすかの郷

利用者数3,887人(前年4,169人、前年比93.2%)と昨年を下回りました。

取扱高は、39,408千円(計画比86.7%)となりました。

(3) 高千の里配食サービス

①佐渡市から受託している配食弁当

火曜日と金曜日の週2回で弁当製造・配食サービスに対する要望把握や安否確認を含めた配達対応に努め、年間で781食(前年1,122食、前年比69.6%)提供しました。

②社会福祉協議会から受託した配食弁当

月曜日、水曜日、木曜日の週3回で弁当製造及び配達を行い、年間で903食(前年1,009食、前年比89.5%)提供しました。

2. 佐渡市在宅介護支援センター高千の里

(1) 利用状況

佐渡市からの委託事業として、高齢者実態把握調査96件(計画96件)、介護予防教室の開催12会場で計140回(計画139回)実施し、地域の健康増進に取り組みました。

(2) 取扱高

取扱高は、6,171千円(計画比103.5%)となりました。

3. 訪問介護

(1) 利用状況

サービス提供時間（身体介護、生活援助中心、通院等乗降介助）は、ふれあい館（高千・南佐渡サテライトを含む）、あすかの郷で延べ16,595.0時間となりました。

(2) 事業所別利用状況及び取扱高

①ふれあい館(高千の里・南佐渡サテライト含む)

サービス時間12,658.9時間(前年14,752.8時間、前年比85.8%)と昨年を下回りました。

取扱高は、70,947千円(計画比76.4%)となりました。

②あすかの郷

サービス時間3,936.1時間(前年3,939.7時間、前年比99.9%)と昨年を下回りました。

取扱高は、17,924千円(計画比98.3%)となりました。

4. 障がい者福祉サービス

(1) 利用状況

サービス提供時間は身体介護を中心(生活援助、通院等乗降介助を含む)に1,973.5時間(前年1,890.5時間、前年比104.4%)と昨年を上回りました。

(2) 取扱高

取扱高は、11,315千円(計画比110.3%)となりました。

5. 真野第2保育園

(1) 利用状況

年間の園児延べ人数72人(前年96人、前年比75.0%)と昨年を下回りました。

「スキンシップを通じて伝え合う嬉しさ、信頼し合う喜び」「失敗体験をとおして課題を乗り越えたときの達成感(意欲と自主性を育む)」「絵本の読み聞かせをとおして心を豊かにする保育」に継続して取り組み、保護者から高い評価を受けています。

(2) 取扱高

取扱高は、38,184千円(計画比104.8%)となりました。

6. ひまわり保育園

(1) 利用状況

佐渡総合病院の院内託児所は、医師および看護職員等が安心して子どもを預け勤務できるよう、子ども達の健全な心身の成長・発達に取り組みました。

年間の園児延べ利用回数は、1,616回(前年2,517回、前年比64.2%)と昨年を下回りました。

(2) 取扱高

取扱高は、17,316千円(計画比97.3%)となりました。

7. 特別養護老人ホーム金泉ふれあいの杜

(1) 利用状況

要介護4・5の入院リスクが高まる入居者が中心となるため、入居者の健康管理に努め、早期発見・早期治療対応に努めました。

また、身体機能の維持・向上、生活の質の向上が期待できるよう新たにレクリエーションに取り組んでいます。

(2) 取扱高

取扱高は、128,887千円(計画比99.2%)となりました。

8. グループホームふれあい館はもち

(1) 利用状況

認知症高齢者の生活を援助しつつ、自立支援をサポートするため共同生活を通じてサービス提供に努めました。

(2) 取扱高

取扱高は、76,580千円(計画比95.8%)となりました。

9. 有料老人ホームあすかの郷

(1) 利用状況

主に要介護度が低い高齢者が入居されており、施設スタッフによる生活援助や緊急時の対応、レクリエーションサービス等が受けられるほか、介護サービスが必要な場合は、訪問介護や通所介護などの外部サービスを利用しながら、安心して継続した生活を送ることが出来るよう支援に努めました。

(2) 取扱高

取扱高は、30,998千円(計画比108.4%)となりました。

10. 居宅介護支援

(1) 利用状況

ケアマネジャーの増員及び専任化に取り組み、要介護者等が心身の状況等に応じ在宅生活が継続できるよう、行政機関、サービス事業者等との連絡調整等に努め、居宅介護支援事業全体(総合事業を含む)の利用者延べ人数は、2,921件(前年3,170件、前年比92.1%)月平均243件と昨年を下回りました。

(2) 事業所別利用状況及び取扱高

①高千の里

利用者数844件(前年1,072件、前年比78.7%)月平均70件と昨年を下回りました。(令和5年9月より3名から2名体制)

取扱高は、14,345千円(計画比70.4%)となりました。

②ふれあい館

利用者数 1, 6 2 3 件(前年 1,663 件、前年比 97.6%)月平均 1 3 5 件と昨年を下回りました。

取扱高は、2 6, 2 9 9 千円(計画比 90.0%)と昨年を下回りました。また、当法人の本部機能として居宅介護支援事業の中心的部署であり、特定事業所加算取得に取り組んでいます。

③南佐渡

利用者数 4 5 4 件(前年 434 件、前年比 104.6%)月平均 3 6 件と昨年を上回りました。

取扱高は、5, 7 0 7 千円(計画比 100.8%)となりました。

11. 移動支援

(1) 利用状況

主に通院等が困難者である高齢者や障がい者に対応する移動支援サービスを展開し透析患者等の通院需要の増加等により、年間利用延べ人数で、5, 3 0 0 人(前年 5,745 人、前年比 92.3%)と昨年を下回りました。

(2) 取扱高

取扱高は、1 1, 1 8 6 千円(計画比 101.2%)となりました。

12. 福祉用具貸与

(1) 利用状況

在宅介護を必要とする利用者及び介護者の両方の立場を理解し、様々な福祉用具の中から身体状況に適合した機種選定に努めました。

福祉用具貸与事業全体での利用者延べ人数は、1 2, 2 6 2 人(前年 12,829 人、前年比 95.6%)と昨年を下回りました。

(2) 事業所別利用状況及び取扱高

①ふれあい館

積極的な情報提供や差別化商品等の提案を実施し、年間の介護保険利用者の延べ人数は、9, 2 8 9 人(前年 10,001 人、前年比 92.9%)と昨年を下回りました。

取扱高は、1 0 2, 7 8 8 千円(計画比 90.3%)となりました。

②ふれあい館南佐渡

利用者等への円滑な福祉用具提案により、年間の介護保険利用者の延べ人数は 2, 9 7 3 人(前年 2,828 人、前年比 105.1%)と昨年を上回りました。

取扱高は、3 0, 0 5 6 千円(計画比 102.4%)となりました。

13. 介護用品修理販売

(1) 利用状況

利用者への介護用品情報の提供に努めました。法人全体の介護用品修理販売の年間実績(売上総利益)は、1 4, 5 4 5 千円、前年比 98.1%と前年を下回りました。

佐渡市が実施している「紙おむつ等の介護用品支給事業」全体の延べ人数は、

- 1, 192人(前年 1,370 人、前年比 87.0%)と昨年を下回りました。
- (2) 事業所別利用状況及び取扱高
- ①ふれあい館
- 介護用品修理販売実績(売上総利益)は、10,838千円(前年 11,515 千円、前年比 94.1%、計画比 132.4%)となりました。
- 紙おむつ等の介護用品支給事業でも、年間の利用者延べ人数は、875人(前年 980 人、前年比 89.3%)と昨年を下回りました。
- ②ふれあい館南佐渡
- 介護用品修理販売実績(売上総利益)は、3,707千円(前年 3,314 千円、前年比 111.9%、計画比 101.9%)となりました。
- 紙おむつ等の介護用品支給事業では、年間の利用者延べ人数は、317人(前年 390 人、前年比 81.3%)と昨年を下回りました。

Ⅳ．苦情・事故件数について

- | | |
|-----------------|-----|
| 1. 苦情 | 2 件 |
| 2. 事故（軽微な事故を含む） | |
| （1）確認不足 | 7 件 |
| （2）物品の破損 | 2 件 |
| （3）サービス提供の遅延 | 1 件 |
| （3）サービス提供時の負傷 | 2 件 |
| （4）転倒による負傷 | 3 件 |
| （5）誤薬 | 1 件 |
| （6）請求の誤り | 2 件 |
| （7）車両事故 | 6 件 |

Ⅴ．経営状況

別紙「令和5年度決算書」のとおりとなります。